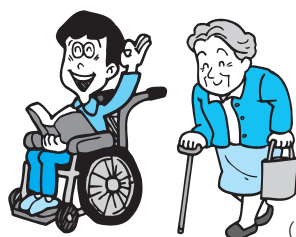


介護保険と 障害者自立支援の

審査会

平成22年度

当組合では、有明圏域2市4町共同で行う、介護認定審査会と障害者自立支援審査会の開催・運営に関する業務を行っています。



() 内は21年度比

介護認定審査会

《開催数326回》

市町名	荒尾市	玉名市	玉東町	南関町	長洲町	和水町	広域計
平成23年3月31日現在							
人口	56,236 (-220)	70,369 (-466)	5,678 (-29)	10,911 (-137)	16,968 (-83)	11,562 (-146)	171,724 (-1,081)
高齢者人口 (65歳以上)	15,562 (-96)	19,296 (-138)	1,704 (-34)	3,568 (-54)	4,431 (+35)	4,034 (-54)	48,595 (-341)
高齢者比率	27.7% (0)	27.4% (0)	30.1% (-0.4)	32.7% (-0.1)	26.1% (+0.3)	34.9% (0)	28.3% (0)
認定実人数	3,217 (+133)	4,008 (+148)	305 (-18)	734 (+51)	858 (+16)	859 (+23)	9,981 (+353)
非該当	18	29	2	5	1	0	55
要支援1	347	725	56	169	77	82	1,456
要支援2	612	780	55	135	169	164	1,915
要介護1	897	949	89	164	189	183	2,471
要介護2	705	714	47	109	160	154	1,889
要介護3	402	449	44	95	116	107	1,213
要介護4	379	414	38	86	96	121	1,134
要介護5	250	364	39	73	80	101	907
再調査	4	3	1	1	0	0	9
審査件数合計	3,614 (+367)	4,427 (+555)	371 (+29)	837 (+164)	888 (+68)	912 (+115)	11,049 (+1,298)

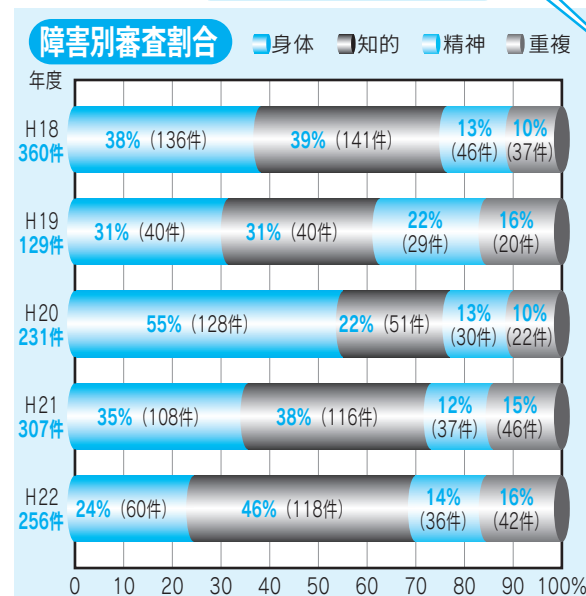
予防給付

介護給付

障害者自立支援審査会

《開催数24回》

区分の数字が高くなるほど、より重度になります。



障害程度区分の審査判定結果件数

	身体	知的	精神	重複	合計
非該当	0	0	0	0	0
区分1	9	6	4	0	19
区分2	14	14	16	6	50
区分3	16	33	16	12	77
区分4	6	27	0	9	42
区分5	7	21	0	6	34
区分6	8	17	0	9	34
再調査	0	0	0	0	0
合計	60	118	36	42	256

(平成23年3月31日現在)

《項目別状況》

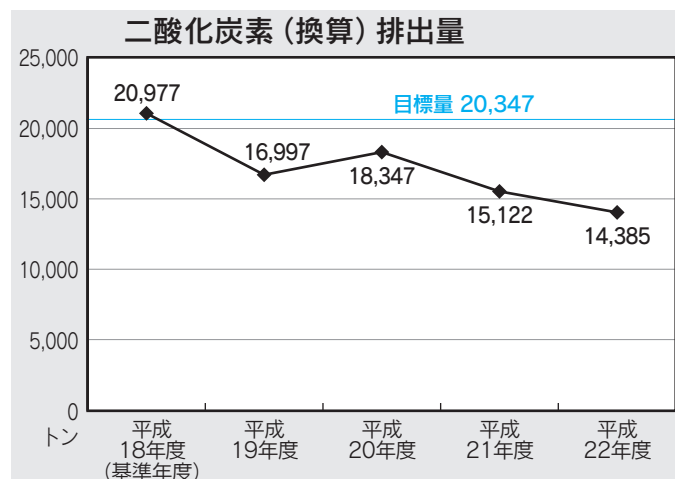
※平成18年度(基準年度)比較

温室効果ガス排出項目	増減量	増減率
ガソリン	4,693 L	9.40%
灯油	87,060 L	12.86%
軽油	2,727 L	9.51%
A重油	27,454 L	8.40%
LPG	264 kg	5.16%
電気	4,664 kwh	0.05%
廃プラスチック類	△1,900トン	△42.68%
自動車走行	38,145 km	9.81%
廃棄物焼却	△2,021トン	△8.32%
し尿処理	△2,076 m³	△5.60%
省資源・リサイクル項目	増減量	増減率
用紙 [A4換算]	△261,463 枚	△32.24%
水	△2,952 m³	△3.33%
廃棄物	△1,887 kg	△18.76%

※数値は四捨五入しています。

《温室効果ガス(二酸化炭素換算)総排出量》

	基準年度(平成18年度)		平成22年度	
二酸化炭素(CO ₂)	20,491トン	97.68%	13,942トン	96.92%
メタン(CH ₄)	59トン	0.28%	48トン	0.33%
一酸化二窒素(N ₂ O)	427トン	2.04%	395トン	2.75%
総排出量	20,977トン	100%	14,385トン	100%
削減量			6,592トン	
削減率			31.42%	



■できることを意識して

日本人ひとりが一年間に出す温室効果ガスの排出量は、約10トン！温室効果ガスの大部分が二酸化炭素です。このうち約半分は家庭から排出されています。地球温暖化をストップさせるには、日常生活の中で省エネ、節電、節ガスを心がけることです。

例えば、車の使用を減らし、アイドリングもやめる、冷暖房をクールビズ、ウォームビズで調節する、使っていない電気製品のコンセントを抜く、いらぬものを買わない、ごみを分別リサイクルで半減させる、これだけでも排出量削減にかなりの効果があります。今日からみなさんも始めてみましょう。

ためであると考えられます。

ストップ・ザ・温暖化 第2期

《平成22年度 地球温暖化対策取組結果》

左表を見ても分かるように、東部環境センターとクリーンパークファイブのごみ処理施設の《廃棄物焼却》に含まれる《廃プラスチック類》を削減42・68%できたことにより、燃やしたときに出る二酸化炭素の減少が大きく、全体の排出量の削減目標を達成する結果となりました。これは、圏域住民のごみの分別・リサイクルへの関心が高まってきている